

# 大豆情報 令和元年Vol. 3

令和元年9月17日

宮城県石巻農業改良普及センター

Tel : 0225-95-7612 Fax : 0225-95-2999

## 8月以降の気象経過

### ◆ 8月は高温傾向

日平均気温は上旬が平年差+3.2℃、中旬は平年差+2.0℃と高くなり、下旬は平年差+0.6℃と概ね平年並でした。日照時間は上旬が平年比151%と平年に比べて非常に多くなった一方で、中旬は平年比87%、下旬は平年比76%と平年よりも少なくなりました。降水量は上旬が平年比4%、中旬が平年比79%と少なくなり、下旬は平年比108%と多くなりました。

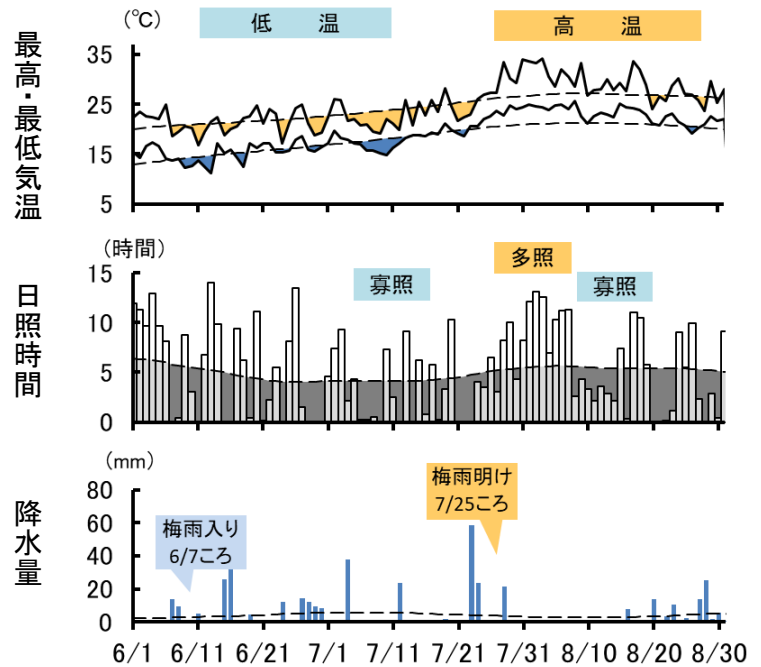


図1 6月以降の気象経過(アメダス石巻)

## 調査ほの生育状況(8月30日)

平年より主茎長が短い傾向。



表1 調査ほの8月10日及び8月30日調査結果

品種 (作型) 地点名(旧市町)	播種日 (月/日)	8月10日調査					8月30日調査			
		主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数		主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数		
				(本/本)	(本/m <sup>2</sup> )			(本/本)	(本/m <sup>2</sup> )	
タンレイ (普通) 広淵(河南)	本年	6/26	32	9.5	0.2	2.5	44	12.0	2.2	32.7
	前年差・比	+9日	-32	-4.6	-1.6	12%	-24	-2.9	-0.7	95%
	平年差・比	+12日	-24	-4.1	-2.0	8%	-16	-2.1	-0.4	89%
タンレイ (麦あと) 水沼(石巻)	本年	6/17	52	11.6	1.3	16.8	62	14.4	3.2	40.5
	前年差・比	+5日	-16	-2.0	-1.6	43%	-12	-0.1	+0.4	107%
	平年差・比	+2日	-9	-1.4	-1.8	39%	-5	+0.7	-0.1	88%
タチナガハ (麦あと) 蛇田(石巻)	本年	6/08	44	13.1	1.5	20.6	51	13.9	2.2	29.3
	前年差・比	+1日	-5	-0.5	-1.3	74%	-2	+0.6	-0.5	111%
	平年差・比	-10日	-10	-0.0	-0.5	90%	-16	-0.8	-0	95%
ミヤギシロメ (麦あと) 小船越(河北)	本年	7/09	22	6.6	0.6	6.6	52	13.0	2.7	28.6
	前年差・比	+14日	-27	-5.8	-1.7	30%	-37	-3.2	-0.5	95%
	平年差・比	+25日	-47	-7.5	-2.5	21%	-40	-3.6	-1.5	69%
ミヤギシロメ (麦あと) 牛田(桃生)	本年	7/03	30	8.6	1.0	11.4	73	14.5	3.9	46.5
	前年差・比	+19日	-22	-3.0	-1.4	55%	-22	-1.7	-0.5	119%
	平年差・比	+14日	-30	-4.4	-1.2	48%	-19	-2.0	+0.4	122%

※1 平年値：H26～H30の5か年平均。

※2 「-」は早い、短い、少ない、「+」は遅い、長い、多いを示す。

- ◆ 8月30日調査結果では、主茎長は5箇所すべてのほ場で平年よりも短くなりました。
- ◆ 8月30日調査結果では、主茎節数は水沼のほ場を除いてすべてのほ場で平年を下回っていますが、8月10日調査結果と比べると生育は回復傾向を示しています。
- ◆ 8月30日調査結果では、m<sup>2</sup>あたりの分枝数は桃生のほ場を除いてすべてのほ場で平年を下回っていますが、8月10日調査結果と比べると生育は回復傾向を示しています。

## 今後の管理

### ◆ 排水対策

◎ 今後も、排水溝や明きよの点検・整備をするとともに、大雨が予想される場合には、地表排水の効果を高めるために、枕地の畦を切って溝を作り、排水溝につなげましょう。

### ◆ 雑草対策

～今年は降雨の影響で大豆の生育量が小さいので、畝間の雑草が多い傾向にあります～

- ◎ 9月以降多くの雑草が開花して種子をつけ始めるため、イヌホオズキやアレチウリなどの難防除雑草の多いほ場では、早めに除草を行いましょう。
- ◎ タデ類やアメリカセンダングサ、シロザ、イヌホオズキなどの大型雑草は、コンバイン収穫時に汚粒の原因となります。雑草が種子を作らないうちに手取り除草を行いましょう。
- ◎ 大豆落葉終期～収穫14日前まではラウンドアップマックスロード(非選択性除草剤)による除草が可能ですが、大型雑草は茎や果実の水分が低下しにくく、汚粒の原因となる場合があるので、手取り除草を行いましょう。

## ◆ 病虫害対策

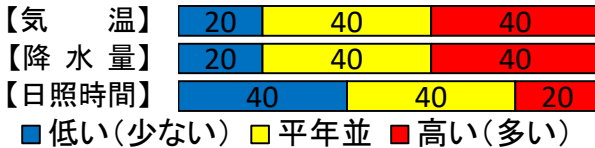
- ◎ べと病の発生量は「平年並」の予想です。発生が多い場合には、防除を行いましょう。
- また、べと病菌は罹病植物上で卵胞子を形成して越冬するので、発生の多少に関わらず、大豆の残さを深くすき込んで、次年度以降の発生を抑制しましょう。

### 東北地方 1か月予報 (9/7~10/6)

仙台管区气象台 9月5日発表

期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

○1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



○週別気温経過の各階級の確率(%)

